

* 嬉野中学校におけるコミュニティ・スクール

地域とともにある学校づくりを目指して



コミュニティ・スクール指定の経緯

平成17・18年度 佐賀県教育委員会が文部科学省からコミュニティ・スクール推進事業の委嘱を受け、嬉野市立嬉野中学校を調査研究校に指定する。

平成19年度 嬉野市立嬉野中学校をコミュニティ・スクールに指定する。

協働の具体 その1

	団体名	団体から学校への支援	学校から団体への支援
1	嬉野温泉商店街組合	風鈴夜市における美術部作品展示 嬉野の好きな風景展開催	嬉野の好きな風景展への出展
2	国際ソロプチミスト 佐賀西部	<u>うれしガーデンの共同苗植え 性教育講演会</u>	
3	嬉野ロータリークラブ	<u>うれしガーデンの共同苗植え</u> 嬉野中学校での例会の実施	嬉野中学校での例会(昼食懇談会)の実施
4	嬉野温泉旅館組合 女将の会	<u>うれしガーデンの共同苗植え</u> <u>さくらロードウォークラリーの共同活動</u>	桜まつりでゲームコーナーの手伝い
5	嬉野町民生・児童委員会	朝の挨拶運動 放課後の防犯パトロール 不登校児童への対応に関する情報交換	不登校児童への対応に関する情報交換
6	嬉野地区少年補導員会	朝の挨拶運動 放課後の防犯パトロール	
7	嬉野ライオンズクラブ	慰霊碑清掃活動 飲酒運転撲滅キャンペーン	慰霊塔の清掃活動を一緒に 飲酒運転撲滅運動を一緒に

うれしガーデンでの地域の方々との協働作業の様子



平成24年7月6日(金) 嬉野中学校 第2回学校運営協議会

熟議 : 地域が学校に支援できる活動について

総合的な学習の時間のゲストティーチャー

地域の専門家による部活動支援

地域コミュニティの協力による人材バンクの立ち上げ

など

その中で

うれしガーデンの看板を作りたい⇒じゃあ、お手伝いをしましょう

美術部員との協働で看板作りとなった

**熟議を取り入れることで、運営協議会の
実効性が期待できる**

協働の具体 その2

	団体名	団体から学校への支援	学校から団体への支援
8	嬉愛会	<u>共同清掃活動</u>	清掃活動を一緒に
9	嬉野市商工会 (青年部,女性部,役員会,事務職員)	職場体験 地域行事における活動支援	うれしのあったかまつりでの 灯籠、俳句の出展 UD全国大会でのスタンプラリーの実施
10	倶楽部八十八	<u>田植え、稲刈り体験</u>	田植え、稲刈りの補助とその後の食事の準備、片付け
11	嬉野町老人クラブ連合会	孫守り活動	老人の方への手紙の発送
12	おはなしどんどん	小中学校での朝の読み聞かせ	
13	嬉野地区行政嘱託員会	交通安全指導 朝の挨拶運動	
14	嬉野地区交通安全指導員会	交通安全指導	
15	その他	<u>堤干しによる鯉つかみ体験</u>	



嬉愛会との清掃作業の様子



倶楽部八十八の支援による田植えの様子

活動の様子と成果

ボランティア団体の一つである国際ソロプチミスト佐賀西部の方から、『佐賀県の10代女性の人工妊娠中絶率が国内ワースト1という現実を問題視している。中学生のために何かお手伝いをしたい。』というお話があり、学校において性教育講演会を開催した。



どんな支援ができるのかを検討する

学校支援の充実

活動の様子と成果

学校支援に特化するだけでなく、学校も地域に貢献するという双方向的な取組により、学校に対する地域からの信頼が得られた。



夏休みは毎日部活動単位で水やりを実践している

中学生だからできる地域への貢献

活動の様子と成果

学校施設を開放し、ボランティア団体の例会や生徒との交流会を学校で開くことにより、生徒理解が深まり、より具体的に教育活動への助言をいただいている。



学校施設を開放し生徒との交流を図る

地域が学校を知り、生徒は地域を知る

堤干しによる鯉つかみ体験



* 地域コミュニティとの関係

平成23年12月11日（日）

「嬉野市教育の日」の取組

全体研修会のテーマ

地域コミュニティと学校とのより良い関係づくりを目指して



参加者
教職員 211名
保護者 33名
地域コミュニティ
61名
約300名の参加

全体研修会① 嬉野市における地域コミュニティの状況

嬉野市 企画部地域づくり・結婚支援課からの説明

地域住民が主体となって地域が抱える課題を解決し活性化を図る

地域コミュニティの各部会には・・・

たとえば

総務・広報部会
公民館活動部会
青少年育成部会
健康福祉部会
環境整備部会
地域づくり部会



地域コミュニティに関する行政説明の様子

全体研修会② 地域コミュニティの支援と学校教育の活性化

大草野小学校と地域コミュニティとの活動の実際

たとえば

地区との合同運動会

昔遊び体験

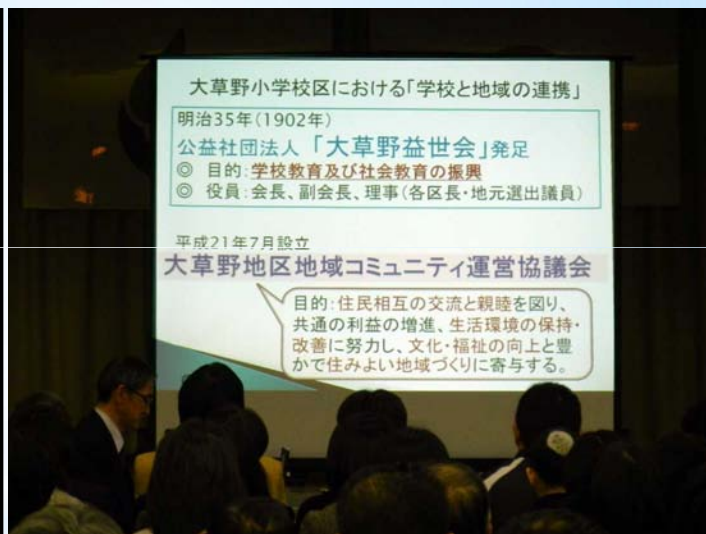
昔のくらしを知ろう

登下校の見守り

ホタルの再生

案山子づくり

大草野小唄の踊り指導



大草野小学校の実践発表の様子

全体研修会③ 小学校区ごとに地域コミュニティとの意見交換



全体研修会の感想

昔の暮らし・あそび体験や稲作体験、しめ縄づくりなど地域コミュニティとの具体的な活動を知ることができた。

ほたる橋の由来など、地域の歴史を知りながら活動をしている例など参考になった。

学校がこれほどの支援を必要としていることを知らなかった。地域とともに活動をしたいと考えているので、学校の要望を発信してほしい。

地域の方々と子供たちが知り合えることが、子どもたちにとっての安全・安心につながっていく。

学校の要望を聞きながら、地域コミュニティにはいろいろな分野の人が集まるので、支援できそうな人の顔が浮かんできた。

お互いが会議を持つこと、それだけで可能性は広がる

* 地域コミュニティとの今年度の取り組み

嬉野市コミュニティ・スクール部会の立ち上げ

部会長(嬉野市立塩田中学校長)
市内4中学校のコミュニティ・スクール担当者
地域コミュニティ(会長2名・事務局長2名)
コーディネーター及び教育委員会事務局 計12名

1回目の会議 平成24年6月28日(木)
コミュニティ・スクールの制度と活動の実際

2回目の会議 平成24年9月(予定)
部会の委員による熟議
～地域コミュニティと中学校との連携を行う際の課題～

嬉野市教育の日における研修会の実施

平成24年12月9日（日）予定

市内全教職員（約200名）

地域コミュニティ担当者・保護者による研修会

パネルディスカッション

「地域コミュニティと学校とのより良い関係づくり」

CS推進員・地域コミュニティ事務局長・学校代表など

* 具体的な取り組み事例

塩田小学校から地域コミュニティに依頼があり、実践された総合的な学習の時間



塩田津講座「塩田の歴史と文化」
平成24年6月20日



塩田津講座「塩田津の町並みと建物」
平成24年6月22日

コーディネーターは、地域コミュニティの事務局長さん!!

* コミュニティ・スクール導入による成果

地域が学校を知る

開かれた学校づくり

子どもを育てるという当事者意識の高揚

地域との協働の実践

地域の一員であるという子どもたちの自覚

地域を知り、地域を誇らしく思う子ども

* これから期待する効果

地域コミュニティを起点とした学校支援

地域コミュニティそのものが学校と地域をつなぐコーディネーター

地域コミュニティによる地域の人材バンクの設置

地域コミュニティと中学校とのつながりの強化

小学校区ごとにある地域コミュニティと中学校との連携を探る